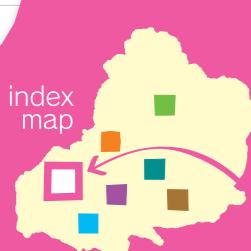


# 七城周辺エリア



## 1 池ノ尾間歩(池ノ尾トンネル)



産業遺産

地図 C-1

明治時代山越えで通行していた不便さを解消するため、部落の住民総出で何ヵ年もかけて鍛や唐鍛で掘った、手作りの生活道。堀切住民の夢と汗の結晶である。開通後は、小中学校の通学路、農林業道路として利用され、今日に至っている。

## 2 山崎区の玉石垣



有形文化遺産

地図 C-2

玉石垣は、山崎区内の道路端各所でみられ、農地確保のため、住居を平地に造らず、高台に造った先人の知恵を顕彰している。玉石は、平地の水田造成のときに出土した石を使っており、再利用や、景観を形成するうえでも優れています。

## 3 神尾城址



複合的遺産

地図 C-2

城跡は丘陵末端部の古墳だが、破壊されたものと思われ、現在は阿蘇三社宮の敷地にある。境内の一画に円墳があり、赤色顔料を塗った安山岩板石が見える。別名水次城とも言い、水次代々の居城とも村上外記の城跡とも言われている。

## 4 菊池隆定公墓



有形文化遺産

地図 B-2

上水次区に、三基の古塔がある。墓は五輪塔や宝篋印塔を寄せ集めて成っており、中央の高い伽藍塔は菊池隆定の墓、左右の五輪塔は、隆定の兄長野太郎隆長と弟砥川三郎秀直の菩提塔。隆定は第六代菊池隆直の第二子で第七代となる。

## 5 妙見の楠



自然遺産

地図 B-1

辺田区の東部にあり地元ではこの楠を「上霍神社」・「妙見さん」と呼び、古くから「水の神様」として祀っている。この神木には、祈願すると雨の恵みを得られることや、白蛇が住みついて木の主になっていることなどの口伝えがある。



## 6 台の棕の大木「妙見さん」と地蔵菩薩



複合的遺産

地図 B-2

以前は、小船をつないでいたという棕の巨木があったが、枯死したため、現在は2代目の棕として、台城跡の法面に茂っており、台区のシンボルとして「妙見さん」という呼び名で親しまれている。地蔵菩薩も祀られている。

## 7 台の石塔(板碑1枚)



有形文化遺産

地図 B-1

凝灰岩の自然石を利用したこの石塔には、梵字（バーンク）が刻み込まれてあり、南北朝時代のもので水島の戦いでの供養を意味するものではないかと考えられている。「いしほとけさん」と呼ばれている。

## 8 台の石塔(板碑1枚、地蔵菩薩2塔)



有形文化遺産

地図 B-2

石塔は、凝灰岩で造られており、やや扁平な板石で、上部には、薬研彫りされた梵字（アーラ）が大きく刻み込まれてあり、南北朝時代のもので水島の戦いでの供養を意味するものではないかと考えられている。

## 9 寺町海津見神社



有形文化遺産

地図 A-2

今川了俊が菊池武朝の水島の城（台城）を攻め、武朝がこれを退けた時、嶽の鼻の淵より見つけた二つの丸石を「零石」として、神殿を建立し祀ったと言われる。現在寺町海津見神社は、県北の雨乞いの神社とされている。

## 10 法藏さん



有形文化遺産  
地図 A-2

高田地区では水神さんことを法藏さんと呼んでおり、正方形に囲まれた6mぐらいいの端垣の中に、千個以上の丸石がピラミッド型に積上げられており、ご本尊はピラミッドの中心に鎮座している。ご神体は、純白の丸い川石。

## 11 西郷南州先生祖先発祥之地



有形文化遺産  
地図 B-2

明治維新で活躍し、西南の役薩軍の将西郷隆盛の祖先発祥の地。一帯は菊池十八外城の一つ増永城跡で、初代の城主西郷太郎政隆は、菊池氏初代則隆の子。その後裔26代西郷九兵衛昌隆の時、薩摩に移り住んだという記録がある。

## 12 清水水源と杉の大木



複合的遺産  
地図 B-3

七城町清水区にある水源は、熊本県名水百選に選ばれた湧水地で、三百年を越す大杉が横たわっており、その水源（杉の下）から地下水が湧き出ている。この水源地は、四町程の水田を潤し、清水の地名の由来にもなっている。

## 13 宮園薬師堂



有形文化遺産  
地図 B-3

台宗の古寺跡で開基などは不明だが本尊は薬師如来である。御堂には薬師如来像（坐像）を中心として、薬師如來を守護するように左右に6体ずつの小さな仏像が配祀してある。毎年7月7日にはお籠もりがあり、お薬師さん呼ばれている。

## 14 放牛地蔵



有形文化遺産  
地図 A-2

石碑には「享保13年（1728）9月29日」、「他力、放牛」、「神ほとけおがまぬ先に親おがめ神やほとけもうれしかるらん」の和歌が彫られており、親孝行の大切さを問いかけている。長年地域住民により大切に護られている。

## 15 馬つくり



無形文化遺産  
地図 B-3

正月前川区の子どもは、稻ワラで馬と銭繩をつくり農耕馬に感謝するため戸々に配つて餅をもらい、ぜんざいを食べるのを正月の行事としてきた。しかし少子化により現在では区全体の行事として実施している。

## 16 大元帥陛下御駐輦之地



有形文化遺産  
地図 A-3

大元帥陛下御駐輦之碑は、昭和天皇が昭和6年陸軍特別大演習の際、演習を御統監された聖地として、旧清泉村により昭和14年に建立。小野崎・松島区で毎年11月12日に行幸記念式典、元旦に年賀式典を開催している。